２０２２年度進捗報告（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年　　9 月　　28 日
● 事　業　名　：働きづらさ解消に向けた支援（Diverse Working）
● 資金分配団体　：公益財団法人長野県みらい基金
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人ふくろうＳＵＷＡ

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1 働きづらさを抱えた人の就労に向けての就労訓練の場が生まれる	訓練参加者人数(実数把握)	10 人	2021 年 3 月	1 名が体験から一般雇用に移行 1 名 復職 1 名 福祉作業所に移行 2 名起業 1 名、訓練中 2 名	3
1-2 地域の産業と連携する場や機械が出来る	①連携した企業数(実数把握)	3 社	2021 年 3 月	清掃業 1 社、 製造業 1 社 福祉施設 1 社	2
	②体験就労者数(実数把握)	初期値(0)からの向上	2021 年 3 月	1 名	2

2-1 引きこもりの人に就労に向けた座学、就労訓練等に必要なサービス提供の為の明確な相談窓口が出来る	①相談者来場者数(実数把握)	①初期値(０)からの向上	2021 年 3 月	32 名	2
	相談のべ日数(実数把握)	② 初期値(0 日)からの向上		42	2
3-1 当事者や家族同士、地域住民が情報交換できる居場所が出来る	来場者数(実数把握)	初期値(0)からの向上	2021 年 3 月	3 名	3
3-2 居場所において、困難解決に必要なサービス、相談支援の提供が出来ている	①相談者数(実数把握)	①初期値(0)からの向上	2021 年 3 月	5 名	3
	②サービス提供に移行した人数(実数把握)	②初期値(0)からの向上	2021 年 3 月	2 名が訓練に移行	3
3-3 居場所が地域に定着する	地域住民やステークホルダーの満足度(アンケート調査)	初期値(0)からの向上	2022 年 3 月		3
4-1 就労者が経済的に安定する	就労者の満足度(電話ヒヤリング調査)	初期値(0)からの向上	2023 年 3 月	1 名はアパートにて自活し安定している。 １名自宅にて自活し安定している。 1 名は親と同居であるが安定している 1 名が就労先と会わず入院中で再度戻りたいとの意向ある。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
引きこもりの若者への支援の継続を堅持しつつ、問合せ、相談の中で一般企業への就職は疾患や生活環境(介護等)により難しいが短時間で１日１・２時間でも仕事をしていきたいと意欲のある方も一定数居ました。現状は一般企業への就職が前提の訓練の場としての性質上受け入れがたい状況がありましたが、働く場の多様性として短時間労働(1 日 1 時間から)を希望する方の受け入れていく事にして関連機関への広報活動を始めた。 利用者の中には、訓練日数を増やしたいとの話があり、週 3 日に増やし 11 月よりパート雇用に移行する事になり訓練成果も向上している。また、1 名は企業実習を予定しておりましたが、本人より慣れているので、このまま「ワークスふくろう」で職員として採用してほしいとの希望が出され、出来るだけ本人の希望に添えるよう検討中です。 より安定的な収益確保のためにヤフーショッピングに 11 月出店予定で作業を進めています。また、支援金融機関の商談マッチングサイトに登録する方向で話が進んでいます。 事業運営の安定化確保のため、就労継続支援 B 型の併設を 2023 年 4 月開所予定で関係機関に相談予定でいます。 事業所紹介パンフレットを 50 部発注する。

③ 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他　シイタケ栽培ハウスにシール貼り付け →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2.広報制作物等 ・事業所紹介パンフレットの作成 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・シイタケハウス完成披露イベント

添付資料

【シイタケ栽培ハウス】

【シイタケ収穫作業】

【出荷に向けた袋詰め作業】

⇑

【シイタケハウス利用者さんの“居場所”】⇒